

講義コード		科目区分	必修
(フリガナ)	シャカイフクシガイロン 1	(フリガナ)	タカハシ カズエイ
授業科目名	社会福祉概論 I	担当教員名	高橋 一栄
英文授業科目名	An introduction to social welfare 1		
基準年次(開講期)	1年, 3年次編入(前期)	履修形態	必修
曜日/ 時限/ 講義室	水 2 限, 水 3 限 / 浅草		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義中心
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	社会福祉、バルネラビリテイ、人口減少		
授業概要・目的	<p>本授業では、次の3点を中心に学習する。</p> <p>1) 社会福祉とはなにか、どのようにわたしたちの生活と関わっているか理解する。</p> <p>2) 人口減少社会における社会福祉とは、どのようなものか。私たちの生活と社会福祉について理解する。</p> <p>3) 「バルネラビリテイ」(社会的弱者)の概念とその問題点、解決方法等について理解する。</p>		
到達度評価の評価項目	<p>(知識・理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における社会福祉の全体像を、自身の生活経験をもとに説明する。 ・過去・現在の社会福祉の概要をふまえて、人口減少時代を迎えたこれからの社会福祉の進むべき方向を予測する。 ・「バルネラビリテイ」(社会的弱者)の概念と、その対象者、問題点、解決方法等を具体的に述べる。 <p>(知的能力・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉に関する資料・情報をもとに、自分の考えをまとめたり、検討したりすることができる。 		
授業計画			
第1回	ガイダンス・オリエンテーション 授業の進め方、社会福祉概論1を学ぶ意義		
第2回	社会の変化と福祉 伝統社会から近代社会へ、現代社会と福祉、福祉国家の成立、福祉政策と現代的課題		
第3回	現代社会の変化と福祉 人口の変化、労働の変化、家族の変化、高齢化の推移と将来推計		
第4回	福祉と福祉政策 社会福祉の拡大と限定、コラボレーションとしての福祉政策、社会福祉士の役割		
第5回	具体的資料「人口の変化」 新聞資料「65歳以上初の25%超え」「現代世代減る先は」		
第6回	戦後社会と福祉 日本の福祉システム、福祉元年、21世紀の福祉		
第7回	福祉政策の考え方 生活自己責任の考え方、相互扶助、社会責任、ノーマライゼーション		
第8回	具体的資料「学童保育」「介護」 女性就労、日本とドイツの介護の違い		
第9回	具体的資料「消滅可能性都市」「人口減少」 2040年推計 「消滅可能性都市」896/1800、50年後人口3割、都市介護危機		
第10回	バルネラビリテイ 人権擁護と福祉(予定変更可能性あり レポート 10回→11回) バルネラビリテイと社会的排除		
第11回	社会福祉制度の構造(変更可能性 11回 12回合同) 社会福祉六法、社会福祉法体系		
第12回	欧米等の社会福祉政策との比較 OECD 諸国、東アジア諸国、日本		
第13回	現代社会における社会福祉、象徴的問題点① 性同一性障害動画、性同一性障害小中高 600人超		
第14回	現代社会における社会福祉、象徴的問題点② プラットフォーム落下救助、高齢者詐欺、大介護時代 530万人時代 各動画		
第15回	まとめ、1から14までの復習 1から14までの配布資料をもとに、自主学習、質問回答、テストへの取り組み		
教科書・参考書等	各回配布資料を用意(授業者)以下、予習・復習に関連する参考図書紹介 ・杉田敬三(2011)「はじめての社会福祉」ミネルヴァ書房：京都 ・岡田忠克編(2012)「図表で読み解く社会福祉入門」ミネルヴァ書房：京都		
授業で使用する機器等	各回授業者が配布資料用意。パワーポイント、映像資料他		
予習・復習へのアドバイス	各回の講義内容の確認と参考文献・資料の確認		
履修上の注意・受講条件等	必修教科		
成績評価の基準等	・授業に取り組む姿勢(30/100)・課題・レポート(20/100)・授業理解力(50/100)		
メッセージ	遅刻厳禁 授業中いねむり飲食禁止 携帯電話机の上に置かずしまう バッグも机下に 障害等で携帯を授業で使う場合は事前に申し出る		
オフィスアワー	水曜日昼休み(12:00-12:40)		
その他			